



カードの設定変更

この章では、Cisco ONS 15454 SDH カードに設定されている回線とスレッシュホールドの変更方法について説明します。

準備作業

次の手順を実行する前に、すべてのアラームを調べて、問題をすべて解決しておいてください。必要に応じて『Cisco ONS 15454 SDH Troubleshooting Guide』を参照してください。



注意

カードの設定変更は、サービスに影響することがあります。すべての変更は、スケジュールされた保守時間中に行ってください。

この章では次の NTP (手順) について説明します。適用する DLP (作業) については、各手順を参照してください。

1. [NTP-D88 電気回路カードを対象にした回線設定と PM パラメータ スレッシュホールドの変更 \(p.10-2\)](#) — すべての電気回路カード (E1-N-14、E1-42、E3-12、DS3i-N-12、および STM1E-12) について回線とスレッシュホールドの設定を変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
2. [NTP-D89 オプティカル カードを対象にした回線設定と PM パラメータ スレッシュホールドの変更 \(p.10-3\)](#) — すべてのオプティカル (STM-N) カードについて回線とスレッシュホールドの設定を変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
3. [NTP-D118 AIC-I カードの設定変更 \(p.10-4\)](#) — 外部アラームおよび制御とオーダワイヤの設定を変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
4. [NTP-D91 E1-N-14 保護カードと DS3 i-N-12 保護カードの 1:1 保護から 1:N 保護へのアップグレード \(p.10-5\)](#) — E-1 カードまたは DS-3 カード上で保護タイプを変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
5. [NTP-D311 SAN カードを対象にしたポート設定と PM パラメータ スレッシュホールドの変更 \(p.10-6\)](#) — FC_MR-4 カードのポートとスレッシュホールドの設定を変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
6. [NTP-D330 カードまたは PPM のサービス状態変更 \(p.10-7\)](#) — カードまたは Pluggable Port Module (PPM) のサービス状態を変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
7. [NTP-D331 PPM の管理 \(p.10-8\)](#) — マルチレート PPM のプロビジョニング、光回線レートの割り当てや変更、および PPM の削除を行う場合は、必要に応じてこの手順を実行します。

NTP-D88 電気回路カードを対象にした回線設定と PM パラメータ スレッシュホールドの変更

目的	この手順では、電気回路カードを対象にして、回線の設定と Performance Monitoring (PM) パラメータのスレッシュホールドを変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	NTP-D17 電気回路カードの取り付け (p.2-11)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル



注意

カードの設定変更は、サービスに影響することがあります。すべての変更は、スケジュールされた保守時間中に行ってください。

ステップ 1 電気回路カードの設定を変更するノードで、「[DLP-D60 CTC へのログイン](#)」(p.17-53)を行います。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#)へ進みます。

ステップ 2 必要に応じて「[NTP-D108 データベースのバックアップ](#)」(p.15-6)を実行して、既存のデータベースを保存します。

ステップ 3 必要に応じて次の作業を行います。

- [DLP-D365 E1-N-14 または E1-42 カードの回線およびスレッシュホールドの設定変更](#) (p.20-39)
- [DLP-D340 E3-12 カードの回線とスレッシュホールドの設定の変更](#) (p.20-43)
- [DLP-D341 DS3i-N-12 カードの回線およびスレッシュホールドの設定変更](#) (p.20-47)
- [DLP-D342 STM1E-12 カードの回線およびスレッシュホールドの設定変更](#) (p.20-51)



(注) Alarm Profiles タブの設定を変更するには、[第 8 章「アラームの管理」](#)を参照してください。

ステップ 4 必要に応じて、「[NTP-D108 データベースのバックアップ](#)」(p.15-6)を行います。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-D89 オプティカルカードを対象にした回線設定と PM パラメータ スレッシュホールドの変更

目的	この手順では、オプティカル (STM-N) カードを対象にして、回線の設定と PM パラメータのスレッシュホールドを変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	NTP-D16 STM-N カードおよびコネクタの取り付け (p.2-8)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル



注意

カードの設定変更は、サービスに影響することがあります。すべての変更は、スケジュールされた保守時間中に行ってください。

ステップ 1 STM-N カードの設定を変更するノードで、「[DLP-D60 CTC へのログイン](#)」(p.17-53)を行います。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#)へ進みます。

ステップ 2 必要に応じて、「[NTP-D108 データベースのバックアップ](#)」(p.15-6)を行います。

ステップ 3 必要に応じて次の作業を行います。

- [DLP-D108 STM-N カードの回線設定の変更](#) (p.18-9)
- [DLP-D343 STM-N カードの SDH スレッシュホールドの設定変更](#) (p.20-53)
- [DLP-D109 STM-64 および MRC-12 カードの光スレッシュホールド設定の変更](#) (p.18-12)



(注) Provisioning > VC4 タブの設定を変更するには、「[DLP-D122 IPPM のイネーブル化](#)」(p.18-21)に進んでください。Alarm Profiles タブの設定を変更するには、[第 8 章「アラームの管理」](#)を参照してください。

ステップ 4 「[NTP-D108 データベースのバックアップ](#)」(p.15-6)を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-D118 AIC-I カードの設定変更

目的	この手順では、Alarm Interface Controller-International (AIC-I) カードの外部アラームおよび制御（環境アラーム）、またはオーダーワイヤの設定を変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	NTP-D247 AIC-I カードへの外部アラームおよび制御のプロビジョニング (p.8-12) と DLP-D83 オーダーワイヤのプロビジョニング (p.17-82)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル

ステップ 1 AIC-I カードの設定を変更するノードで、「[DLP-D60 CTC へのログイン \(p.17-53\)](#)」を行います。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#) へ進みます。

ステップ 2 必要に応じて、「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を行います。

ステップ 3 必要に応じて次の作業を行います。

- [DLP-D208 AIC-I カードを使用した外部アラームの変更 \(p.19-6\)](#)
- [DLP-D209 AIC-I カードを使用した外部制御の変更 \(p.19-7\)](#)
- [DLP-D210 AIC-I カード オーダーワイヤ設定の変更 \(p.19-7\)](#)

ステップ 4 必要に応じて、「[NTP-D108 データベースのバックアップ \(p.15-6\)](#)」を行います。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-D91 E1-N-14 保護カードと DS3 i-N-12 保護カードの 1:1 保護から 1:N 保護へのアップグレード

目的	この手順では、E1-N-14 保護カードと DS3i-N-12 保護カードを 1:1 保護から 1:N 保護に変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	DLP-D71 1:1 保護グループの作成 (p.17-66)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル

ステップ 1 E1-N-14 カードと DS3i-N-12 カードを 1:1 保護から 1:N 保護に変更するノードで、「[DLP-D60 CTC へのログイン](#)」(p.17-53)を行います。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#)へ進みます。

ステップ 2 必要に応じて、「[NTP-D108 データベースのバックアップ](#)」(p.15-6)を行います。

ステップ 3 必要に応じて次の作業を行います。

- [DLP-D176 E1-N-14 カードの 1:1 保護から 1:N 保護への変換 \(p.18-66\)](#)
- [DLP-D177 DS3i-N-12 カードの 1:1 保護から 1:N 保護への変換 \(p.18-68\)](#)

ステップ 4 必要に応じて、「[NTP-D108 データベースのバックアップ](#)」(p.15-6)を行います。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-D311 SAN カードを対象にしたポート設定と PM パラメータ スレッシュホールドの変更

目的	この手順では、FC_MR-4 カードを対象にして、回線の設定と PM パラメータのスレッシュホールドを変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	NTP-D286 FC_MR-4 カードの取り付け (p.2-14)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル

ステップ 1 STM-N カードの設定を変更するノードで、「[DLP-D60 CTC へのログイン](#)」(p.17-53)を行います。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#)へ進みます。

ステップ 2 必要に応じて、「[NTP-D108 データベースのバックアップ](#)」(p.15-6)を行います。

ステップ 3 必要に応じて次の作業を行います。

- [DLP-D354 FC_MR-4 カードにある汎用ポートの設定変更](#) (p.20-60)
- [DLP-D355 FC_MR-4 カードにあるポートの距離延長設定の変更](#) (p.20-61)
- [DLP-D356 FC_MR-4 カードにあるポートの拡張 FC/FICON 設定の変更](#) (p.20-63)
- [DLP-D465 FC_MR-4 RMON アラーム スレッシュホールドの作成](#) (p.21-45)
- [DLP-D466 FC_MR-4 RMON のアラーム スレッシュホールドの削除](#) (p.21-48)

ステップ 4 必要に応じて、「[NTP-D108 データベースのバックアップ](#)」(p.15-6)を行います。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-D330 カードまたは PPM のサービス状態変更

目的	この手順では、カードまたはポートのサービス状態が表示されます。この情報は自動的に生成され、ポートの全体的な状態を表します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	第 2 章「カードおよび光ファイバケーブルの取り付け」
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル

**(注)**

STM64-XFP および MRC-12 カードでは、PPM はオプティカル ポートと同等です。

-
- ステップ 1** カードのサービス状態を変更するノードで、「[DLP-D60 CTC へのログイン](#)」(p.17-53)を行います。
 - ステップ 2** **Inventory** タブをクリックします。
 - ステップ 3** 変更するカードまたは PPM の **Admin State** をクリックし、ドロップダウン リストからサービス状態である **Unlocked** または **Locked,maintenance** を選択します。
 - ステップ 4** **Apply** をクリックします。
 - ステップ 5** カードまたは PPM の状態が現在の状態から変更できないことを示すエラー メッセージが表示されたら、**OK** をクリックします。

選択した Admin State に応じて、カードまたはポート /PPM は異なるサービス状態に遷移します。サービス状態およびカード状態の遷移については、『*Cisco ONS 15454 SDH Reference Manual*』の付録「Administrative and Service States」を参照してください。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-D331 PPM の管理

目的	この手順では、MRC-12 および STM64-XFP カードを対象とした PPM のプロビジョニング、変更、および削除を行います (STM64-XFP カードはシングルレート PPM であるため、削除のみを実行できます)。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	DLP-D107 SFP または XFP デバイスの事前プロビジョニング (p.18-8) または DLP-D335 GBIC または SFP/XFP デバイスの取り付け (p.20-29)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル

-
- ステップ 1** PPM のプロビジョニング、変更、または削除を行うノードで「[DLP-D60 CTC へのログイン](#)」(p.17-53)を行います。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#)へ進みます。
- ステップ 2** View メニューから **Go to Network View** を選択します。
- ステップ 3** Alarms タブをクリックします。
- アラーム フィルタの機能がオフであることを確認します。必要に応じて、「[DLP-D227 アラーム フィルタリングのディセーブル化](#)」(p.19-20)を参照してください。
 - 不明なコンディションがネットワーク上に表示されていないことを確認します。不明なコンディションが表示されている場合は、作業を進める前に解決してください。『[Cisco ONS 15454 SDH Troubleshooting Guide](#)』を参照してください。
 - 「[DLP-D147 CTC データのエクスポート](#)」(p.18-40)を行い、アラームおよびコンディション情報をエクスポートします。
- ステップ 4** 必要に応じて、「[DLP-D132 MRC-12 カードのマルチレート PPM のプロビジョニング](#)」(p.18-27)を行います。シングルレート PPM ではプロビジョニングは不要です。
- ステップ 5** 必要に応じて「[DLP-D133 MRC-12 カードの光回線レートのプロビジョニング](#)」(p.18-28)を行い、OC-3、OC-12、または OC-48 回線レートを割り当てます。
- ステップ 6** 必要に応じて「[DLP-D134 MRC-12 カードの光回線レートの変更](#)」(p.18-29)を行い、マルチレート PPM の回線レートを変更します。シングルレート PPM の光回線レートは変更できません。
- ステップ 7** 必要に応じて、「[DLP-D135 MRC-12 または STM64-XFP カードからの PPM の削除](#)」(p.18-29)を行います。

終了：この手順は、これで完了です。
